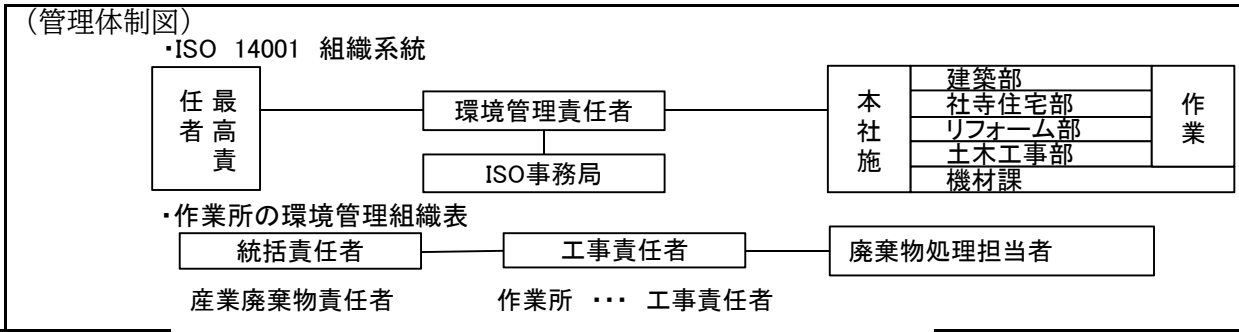


<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">2022 年 7 月 13 日</p> <p>(宛先) 松本市長 様</p> <p style="text-align: right;">提出者 住 所 長野県長野市県町524 氏 名 北野建設株式会社 代表取締役社長 北野 貴裕 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 026-233-5111</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	北野建設 株式会社
事業場の所在地	長野市 県町 524番地
計画期間	自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業 総合工事業
②事業の規模	令和3年度完成工事高 31,847百万円
③従業員数	412名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">工事現場</div> <div style="margin-right: 10px;">…</div> <div>建設廃棄物発生</div> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 5px;">↓</div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">中間処理施設</div> <div style="margin-right: 10px;">…</div> <div>分別、破碎、再生品製造、焼却処分</div> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 5px;">↓</div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">再生施設</div> <div style="margin-right: 10px;">…</div> <div>再生(最終処分)委託、売却 … 再生品製造、熱回収、埋立処分</div> </div>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1参照	
	排出量	15,798 t	t
	(これまでに実施した取組)		
1. 材料・製品の納入で、包装・梱包の簡素化及び再使用を納入業者に依頼・指導しています。			
2. 設計では廃棄物削減とリサイクルの促進・温暖化防止・省エネルギー等を考慮した技術・材料・工法を取り入れた設計に取り組んでいます。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1参照	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
1. 工事現場・設計部とも、今まで実施している取り組みをさらに推進していきます。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
1. 廃棄物の種類毎の容器設置、保管場所の区別を徹底し、また解体工事においては、仕上げ部分は手ばらしを行い、混合廃棄物の発生を抑制しています。	
2. 現場毎の廃棄物の発生量・分別率・リサイクル率を毎月集計・算出し、監視しています。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
1. 上記の取り組みの結果、現在の分別率は高い水準を維持しておりますが、今後、混合廃棄物の排出量ゼロを目指して更に現在の取り組みを進めていきます。	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1参照	
	全処理委託量	15,798 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	4,984 t	t
	再生利用業者への処理委託量	7,697 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
<p>現場から排出する建設廃棄物及びオフィスごみの排出抑制、分別管理とリサイクルの推進に向けてISO 14001による目標設定と管理及び長野県との産業廃棄物3R実践協定締結による取組を行っています。具体的には、以下の対応を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社員教育を実施し、現場では新規入場者に対して当社の環境方針・目的・廃棄物処理に関する教育を実施しています。 ・各現場における建設廃棄物処理委託については、会社にて基本契約を締結した処分会社への処理委託を <p>基本とし、その他の処分会社へ処理委託をする場合には、事前に調査を実施した処分会社と処理委託契約を締結しています。</p>			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1参照	
	全処理委託量	1451 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	200 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	715 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【 令和4 】 年度産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

（単位：t）

「実績」欄：前年度産業廃棄物排出量

「計画」欄：当年度産業廃棄物排出量の目標値

産業廃棄物の種類	総排出量 （※）		自ら再生利用を行なった（行う）量		自ら行う中間処理				自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった（行う）量		処理の委託に関する事項									
	自ら直接再生利用した量等を含めた事業場における産業廃棄物の合計量		自ら直接再生利用する量と自ら中間処理を行なった後に再生利用する量		自ら熱回収を行なった（行う）量		自ら中間処理により減量した（する）量				全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	①		②+⑧		⑤		⑦		③+⑨		⑩		⑪		⑫		⑬		⑭	
	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画
法律	1 燃え殻																			
	2 汚泥	3,553.00	10.00									3,553.00	10.00							
	3 廃油																			
	4 廃酸																			
	5 廃アルカリ																			
	6 廃プラスチック類	541.00	280.00									541.00	280.00	0.70						
政令	1 紙くず	15.00	10.00								15.00	10.00			7.00	5.00				
	2 木くず	675.00	420.00								675.00	420.00			357.00	210.00				
	3 繊維くず	1.00	1.00								1.00	1.00								
	4 動植物性残さ																			
	5 ゴムくず																			
	6 金属くず	11									11				11					
	7 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	54									54									
	8 鋳さい																			
	9 がれき類	10,601.00	700.00								10,601.00	700.00	4,978.00	200.00	7,322.00	500.00				
	10 家畜ふん尿																			
	11 家畜の死体																			
	12 動物系固形不要物																			
	13 ばいじん																			
	14 処分するために処理したもの																			
混合（安定型・管理型）	35	10								35	10	6								
綿（含有建材・特管含む）	312	20								312	20									
合計	15,798.00	1,451.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	15,798.00	1,451.00	4,984.70	200.00	7,697.00	715.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※ 総排出量＝自ら再生利用を行なった（行う）量＋自ら中間処理により減量した（する）量＋自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった（行う）量＋全処理委託量

【記載方法】

- ・産業廃棄物の種類ごとに、当てはまる欄の左側に前年度実績（現状）の量を、右側に本年度計画（目標）の量を、それぞれ記載してください。
- ・「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、「全処理委託量」欄へ記入した後、右欄にそれぞれの量を記載してください。
- ・「自ら再生利用を行なった（行う）量」の欄は、「自ら直接再生利用した量」と「自ら中間処理した後再生利用した量」を合算して記載してください。
- ・「自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった（行う）量」は、「自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量」と「自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分をした量」を合算して記載してください。